

09

リビングフィールド

2025年
3月スオスダイ！
(こんにちは)

主の御名を賛美いたします。私たちは2015年3月に日本バプテスト連盟より派遣され、2023年3月までの8年間、カンボジアで宣教活動を行ってきました。

2023年4月、CBU（カンボジアバプテスト連合）より招へいを頂き、主の導きとみ言葉によってカンボジアの地で宣教活動を継続しています。ただ、CBUからの生活支援はありませんので、日本の教会や個人の方と祈りでつながり、具体的な支援の中で宣教活動を続けられるように願い、祈っています。

近況報告

いつもお祈り、ご支援ありがとうございます。1、2月はカンボジアで大気汚染の影響があり、PM2.5（大気汚染物質）の数値が高かったです。空気が明らかに曇り、遠くの空がぼやけてよく見えない日が数回ありました。数値が高い日には、インター校の屋外スポーツ活動が中止になるなど、影響が出ました。隣国のタイやベトナムでも、学校が休校になるなどの大きな影響があったようです。2月下旬には大分落ち着き、日常が戻ってきています。以下、1月と2月の出来事をお伝えいたします。



礼拝の最後、ニバス牧師が教会員のためにお祈りします。



日曜学校に集まった子どもたち。
リーダーは青いシャツを着ています。

子どもリーダーたちの変化

毎週日曜日、20人から30人、多い時は40名ほどの子どもたちが教会に集まります。その中で、グループのリーダーとなり、メンバーの子どもたちをケアする子どもリーダーがいます。子どもリーダーたちは、礼拝中に暗唱聖句を発表したり、特別賛美をしたりと、最近ますます積極的になっています。最初、7人からスタートした子どもリーダーですが、現在15人にまで増えました。神様が子ども一人一人を育ててくださっていることを感謝します。

あなたはわたしの魂を死から わたしの目を涙から わたしの足を突き落とそうとする者から
助け出してくださった。命あるものの地にある限り わたしは主の御前に歩み続けよう。

詩編 116：8-9

ただ最近リーダーになった子の中に、リーダーの役割についてよく理解できていない子もいます。先日、あるリーダーから「何人かのリーダーの振る舞いが良くないと思う」と意見がありました。そこでリーダーを集めて、みんなで話し合うことにしました。すると、リーダー同士で、良くない言葉によって争い事が起こったということが分かりました。そのような時には、「隣人を愛しなさい」というイエス様の教えを思い出すこと、そして思いやりや優しさを示し実践することが必要である、とみんなで確認することができました。この話し合いの中にイエス様がおられ、子どもリーダーを励ましてくださっていると感じました。



祈りを合わせる子どもリーダーたち

教会のユースたち

中～高校生のユースたちは、日曜学校の奉仕を担ってくれます。賛美のリード、聖書紙芝居の読み聞かせと質問タイムのリード、そして工作の指導などです。2月に行ったお楽しみイベント「子ども市場」では、ビンゴや的あて、輪投げなどのゲーム係をすべてユースたちが担ってくれました。ユースたちだけで日曜学校の奉仕を担えるようになる日もそう遠くなさそうです。



ピザを囲んで、ユースたちで交わりの時。

集落の様子、地域の変化

子どもたちの多くは、教会から歩いてすぐの集落から来ています。ポルポト政権時代の処刑場跡「キリングフィールド」の隣にある集落です。毎月定期的に集落を訪問する中、集落とその周辺地域に変化があることに気づきます。

集落の通りの片側には簡素な家が立ち並び、その家の裏手には、悪臭の漂う小さな川が流れています。



子どもリーダーたちで話し合い。
他のリーダーたちの前で意見を述べる

最初子どもたちは、ご褒美のスタンプがきっかけでリーダーになり、奉仕を担っていました。その子どもたちが、神様の愛と憐れみによって変えられ、今ではスタンプをもらう喜びよりも、神様に仕える喜びの方が大きい、そんな子どもたちも出てきています。「心を尽くし、精神を尽くし、思いをつくして、あなたの神である主を愛しなさい・・・隣人を自分のように愛しなさい」マタイ22：37-39 神様が、子どもリーダーを始め、教会に集まってくる全ての子どもたちの信仰を更に成長させてくださると信じています。



礼拝で特別賛美をささげるユースたち。
楽器はピアノ、カホン、ギター。

そのユースたちと、1月、2月と楽器の練習に取り組んできました。毎週の礼拝で特別賛美をささげ、礼拝後に練習をする中で、歌い手も楽器演奏者も、昨年より確実に上手になっています。音楽を通して、共に協力して奉仕したり、神様を賛美する喜びを更に感じて欲しいと祈り願っています。



集落訪問の様子。礼拝に参加している方もいます。



新しく出来た集合住宅の住民と交流。

教会として、集落や地域の方々ともっと関係を築いていけるように願い、祈っています。

また、最近キリングフィールドの裏手にイオンモールが建ちました。カンボジアで3つ目のイオンモールで、カンボジア最大のショッピングモールです。モールの周辺地域の開発もこれから更に進んでいくと思われます。主が教会付近の地域、更にキリングフィールドの周辺地域に様々な変化を起こしておられます。

川沿いに立つ家の前には、舗装されていない道が長く続きます。道の反対側には空き地がいくつもあり、子どもたちの遊び場となっていました。最近、その土地が開発され、新しく集合住宅が建てられました。完成した住居には、早速、プノンペン郊外や地方から移り住む家族が増えてきています。この集落一帯だけではなく、教会の周りや、キリングフィールドの周辺にも住宅や建物が増えており、それらの地域から教会に来る子どもたちも増えています。



イオンモール3号店。日本でもなかなか見ない規模。

「リビングフィールドの会」ホームページ完成

2月中旬、私たちの支援グループ「リビングフィールドの会」のホームページが完成しました。昨年12月頃、とある支援教会の方から、「やっぱりホームページがあったらいいよね」という声をいただき、作成方法を検討しました。いろいろと調べる中、教会向けホームページ作成サービス

「Lampmate(ランプメイト)」を知り、代表の上坂さんにホームページ作成を依頼しました。



トップページのデザイン。写真が切り替わります。

支援会からも数名加わってもらい、上坂さんと共にオンラインでホームページのイメージや内容について、打ち合わせを重ねました。その結果、私たちの想像を超える、とても見やすいホームページが完成しました。上坂さん、そして協力してくださった支援会の皆様、本当にありがとうございました。



ホームページのロゴ(左)とQRコード(右)

「希望の糸」近況

カンボジア女性支援ミニストリー「希望の糸」の近況です。これまでマクラメアート製品の、プラントハンガーを、主に日本の教会や個人の方に購入頂いていました。カンボジアでも更に販売していきたいと祈っていたところ、新しい場所が与えられました。CBUオフィス教会から歩いて10分ほどのところに、ポルポト時代の処刑場「キリングフィールド」があります。その敷地内にあるお土産屋さんにて、プラントハンガーを販売してもらえることになりました。



キリングフィールド敷地内のお土産屋さんにて店員さんと交渉。



店内にディスプレイされた
アンコールワットデザインのプラントハンガー

先日、ミニストリーのメンバーと一緒に、キリングフィールドに向かいました。敷地内の入口付近には、お土産屋が数件並んでいます。多くの来場者（特に旅行者）は帰り際に、それらのお店を訪れ記念に商品を購入してくれます。キリングフィールドの受付スタッフとは、教会員が関係性をこれまで築いてくれていました。お互いに顔見知りとなり、敷地内にあるお土産さんに話をつないでもらうことができました。今回、神さまの導きによって、販売元が広がり、感謝しています。「希望の糸」が少しずつ広がっています。日本だけでなくカンボジアでも、更に希望の糸が広がっていくように、お祈りいただけると感謝です。

来主と栄主の学校生活

来主と栄主が通う「ホープインターナショナルスクール」では、2月下旬、毎年恒例の学校キャンプが行われました。小学校高学年から高校まで、学年別に違う目的地へ、3泊4日のキャンプに出かけます。来主が所属する高1クラスは、1つ下の学年と合同で、カンボジア東部の州、モンドルキリ（プノンペンから約400km、バスで7時間）でのキャンプでした。自然豊かなモンドルキリで、滝を散策したりハイキングをしたりと様々な活動があり、とても充実した3泊4日となりました。



シャローム・バレーにて、早朝の礼拝の様子。



赤土で覆われたモンドルキリの大地を
目的地へ向かって歩いていく高校生たち

栄主の所属する中1クラスは、三学年合同で、カンボジア南部にある海岸沿いの街「ケップ」（プノンペンから約140km、バスで3時間）でキャンプが行われました。ここにクリスチャンの運営する宿泊場“シャローム・バレー”があり、そこではキャンプはもちろん、水上アスレチックなどの様々な施設があります。1か月ほど前からこのキャンプを心待ちにしていた栄主は、仲のいいクラスメイトと様々な活動を楽しんだようです。

＜祈りの課題＞

1. CBUオフィス教会の子どもたち、青年たちが主の恵みによって更に成長するように。
2. キリングフィールド近くの集落と教会付近の地域が、福音によって変えられるように。
3. カンボジア女性支援活動「希望の糸」の製品の購入を通して、支援が広がっていくように。
4. 宣教活動と生活、子どもたちの学費などの経済的必要が、全て満たされるように。

嶋田 和幸・嶋田 薫（CBU宣教師）、来主（くろす、16歳）、栄主（えいす、12歳）

（連絡先）Eメールアドレス

dekakurosu3927@gmail.com

ホームページ：<https://living-field.org/>

（献金振込先）楽天銀行 ノエル支店（支店番号246）

口座番号 1081064 シマダ カズユキ

